

令和4年2月市議会 環境経済委員会資料

第21号議案 令和4年度長崎市中央卸売市場事業特別会計予算

目次

【単独】中央卸売市場施設整備事業費 ..... 1～2ページ

【参考資料】

中央卸売市場事業特別会計当初予算比較表(歳入・歳出) ..... 4～5ページ

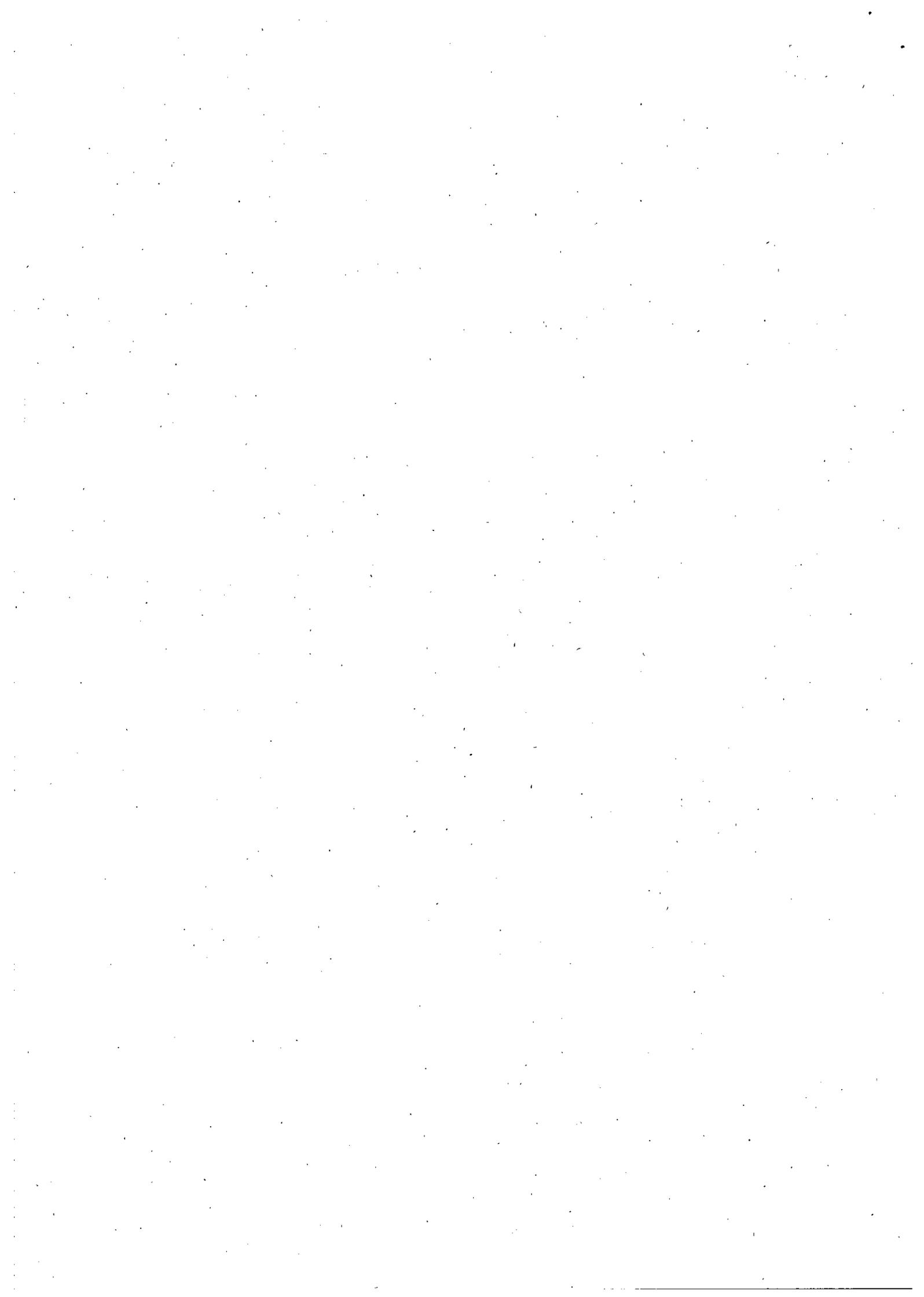
中央卸売市場の概要 ..... 6～7ページ

中央卸売市場事業経営戦略(概要) ..... 8～10ページ

中央卸売市場施設概要 ..... 11ページ

商 工 部

令和4年2月



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
18~19	1 中央卸売市場費	1 中央卸売市場費	1 中央卸売市場管理費	5-1	【単独】中央卸売市場 施設整備事業費 卸売棟電源設備更新	千円 7,400

## 1 概要

中央卸売市場は、長崎市公共施設保全計画に基づき令和22年までの65年間施設を使用することを目標としており、さらに、令和3年3月に策定した中央卸売市場事業経営戦略に基づき、効率的な経営と施設の維持管理に取り組むこととしている。

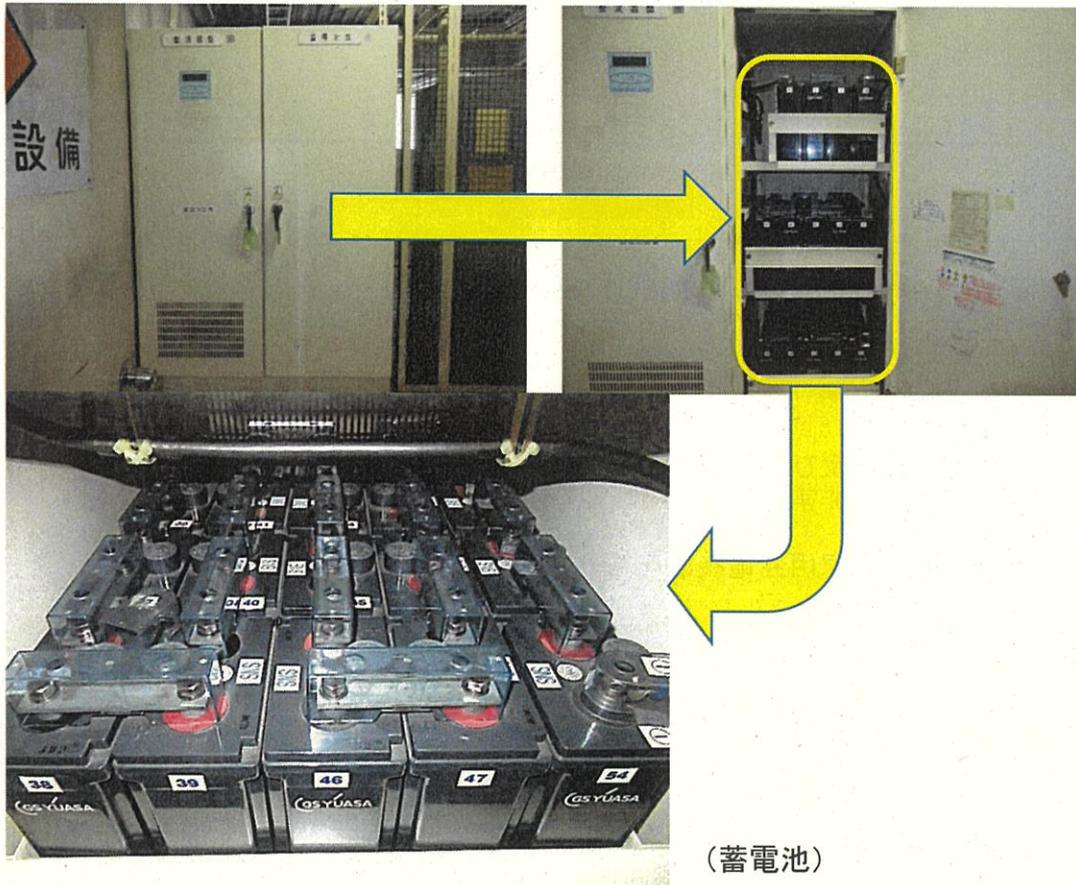
卸売棟電源設備については、定期的に法定点検を行っているが、昨年実施した非常灯の点灯試験により、建築基準法に定める非常灯の点灯時間を維持することができないおそれがあるとの助言があった。

そのため、卸売棟内における従業員や売買参加者などの安全確保を図り、卸売棟内非常灯（143個）の機能を維持するために非常用直流電源装置部品（蓄電池）の取替えを行うもの。

## 2 事業内容

【工事名】卸売棟非常用直流電源装置部品更新工事（予算額7,400千円）

- ・災害停電時の非常灯設備における蓄電池54個の取替え

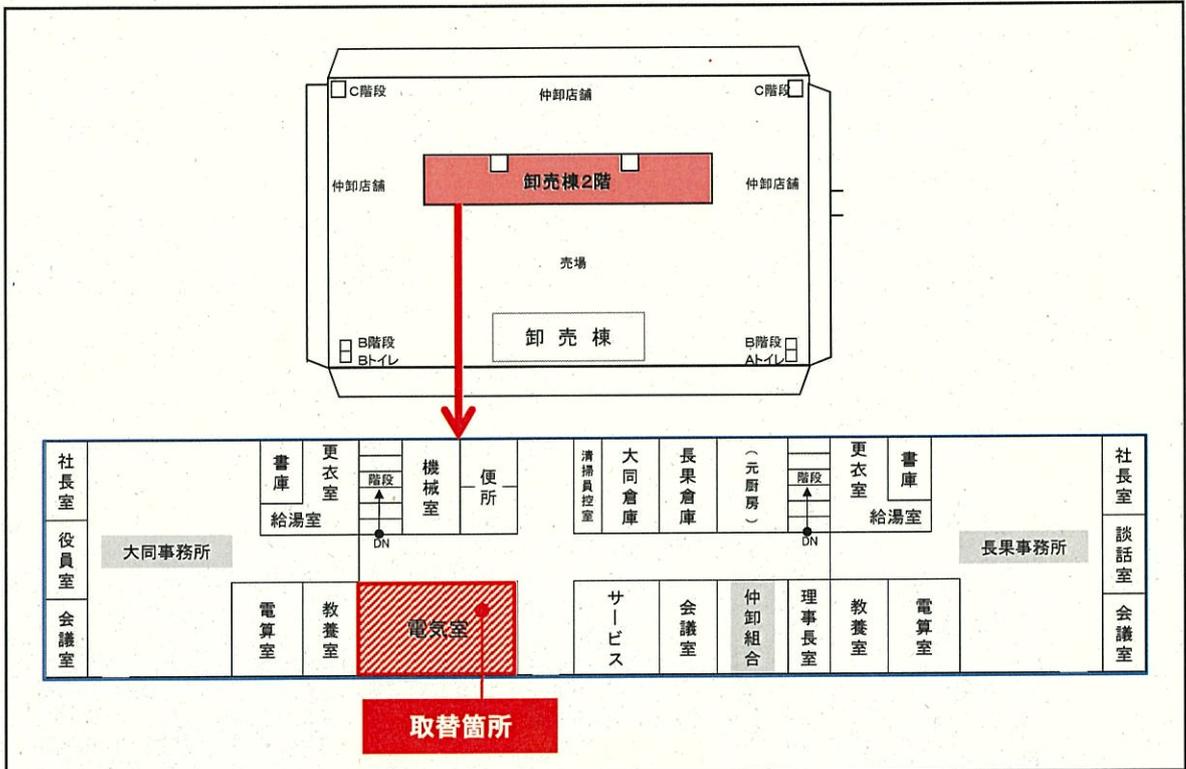


### 3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債 ※	その他	一般財源
千円 7,400	千円 —	千円 —	千円 7,400	千円 —	千円 —

※ 公営企業債 充当率 100% (交付税措置率 —%)

### 4 施工箇所



### 5 参考【非常用の照明装置の構造方法を定める件(昭和45年12月28日建設省告示第1830号)】

#### 【根拠法令】

- ・ 建築基準法施行令第126条の5

#### 【設置場所】

- ・ 居室、廊下及び階段室等の避難施設部分

#### 【予備電源・非常電源】

- ・ 蓄電池
- ・ 蓄電池と自家用発電装置を組み合わせたもの

#### 【点灯保持時間】

- ・ 連続30分以上

#### 【照明器具】

- ・ 白熱灯又は蛍光灯
- ・ 令第126条の5第2号の大臣認定を受けたもの(大臣認定を取得したLEDなど)

#### 【照度】

- ・ 常温下で床面の水平面照度を1ルクス以上確保すること(蛍光灯の場合は2ルクス以上)

# 【参考資料】

## 中央卸売市場事業特別会計当初予算比較表(歳入)

(単位：千円)

	事 項 名 等	令和4年度 (構成比)	令和3年度 (構成比)	比 較	
歳	使 用 料	145,492 (58.5%)	144,775 (53.9%)	717	
		卸売業者市場使用料	49,939	50,030	△ 91
		卸売業者売場使用料	12,323	12,323	0
		低温売場施設使用料	2,294	2,294	0
		仲卸業者市場使用料	357	1	356
		仲卸業者売場使用料	17,107	17,107	0
		買荷保管積込所使用料	13,178	13,178	0
		倉 庫 使 用 料	7,262	7,021	241
		冷 蔵 庫 使 用 料	5,312	5,319	△ 7
		関連事業者市場使用料	9,007	9,007	0
		関係業者事務所使用料	13,686	14,195	△ 509
		仮 眠 所 使 用 料	297	297	0
		会 議 室 使 用 料	6	6	0
		屋上駐車場使用料	52	52	0
		空 地 使 用 料	14,038	13,322	716
		土 地 使 用 料	634	623	11
入	手 数 料	市場使用料督促手数料	1 (0.0%)	1 (0.0%)	0
	財 産 運 用 入 収	利 子 及 び 配 当 金	1 (0.0%)	1 (0.0%)	0
	一 般 会 計 繰 入 金	44,330 (17.8%)	44,182 (16.4%)	148	
	雑 入	51,612 (20.7%)	40,503 (15.1%)	11,109	
		電 気 使 用 料	51,583	40,481	11,102
		業 者 章 売 払 代 金	28	21	7
		複 写 手 数 料	1	1	0
	市 債	7,400 (3.0%)	39,100 (14.6%)	△ 31,700	
	合 計	248,836 (100.0%)	268,562 (100.0%)	△ 19,726	

## 中央卸売市場事業特別会計当初予算比較表(歳出)

(単位：千円)

	事 項 名 等	令和4年度 (構成比)	令和3年度 (構成比)	比 較
歳	中央卸売市場費	224,441 (90.2%)	236,730 (88.1%)	△ 12,289
	職 員 給 与 費	69,714	67,364	2,350
	交 際 費	120	120	0
	取引運営委員会費	356	356	0
	施設維持管理費	129,908	110,894	19,014
	中央卸売市場オープン化 推進事業費	1,000	1,000	0
	事 務 費	15,943	17,896	△ 1,953
	【単独】中央卸売市場 施設整備事業費	7,400	39,100	△ 31,700
出	公債費	23,895 (9.6%)	31,332 (11.7%)	△ 7,437
	元 金	23,393	30,914	△ 7,521
	利 子	502	418	84
	予備費	500 (0.2%)	500 (0.2%)	0
	合 計	248,836 (100.0%)	268,562 (100.0%)	△ 19,726

# 中央卸売市場の概要

## 1 目的及び役割

中央卸売市場とは、私達の毎日の食生活に欠かせない生鮮食料品などを全国各地から多種多量に集め、せり等の取引により適正な価格をつけて、安定的に消費者に供給する流通拠点である。

- ・ 全国中央卸売市場数 (R3. 4. 1 現在)  
→ 65 (40 都市) うち青果 50 (38 都市)
- ・ 全国市場経由率 (H30 年度) → 54.4%
- ・ 国産青果物の市場経由率 (H30 年度) → 79.2%

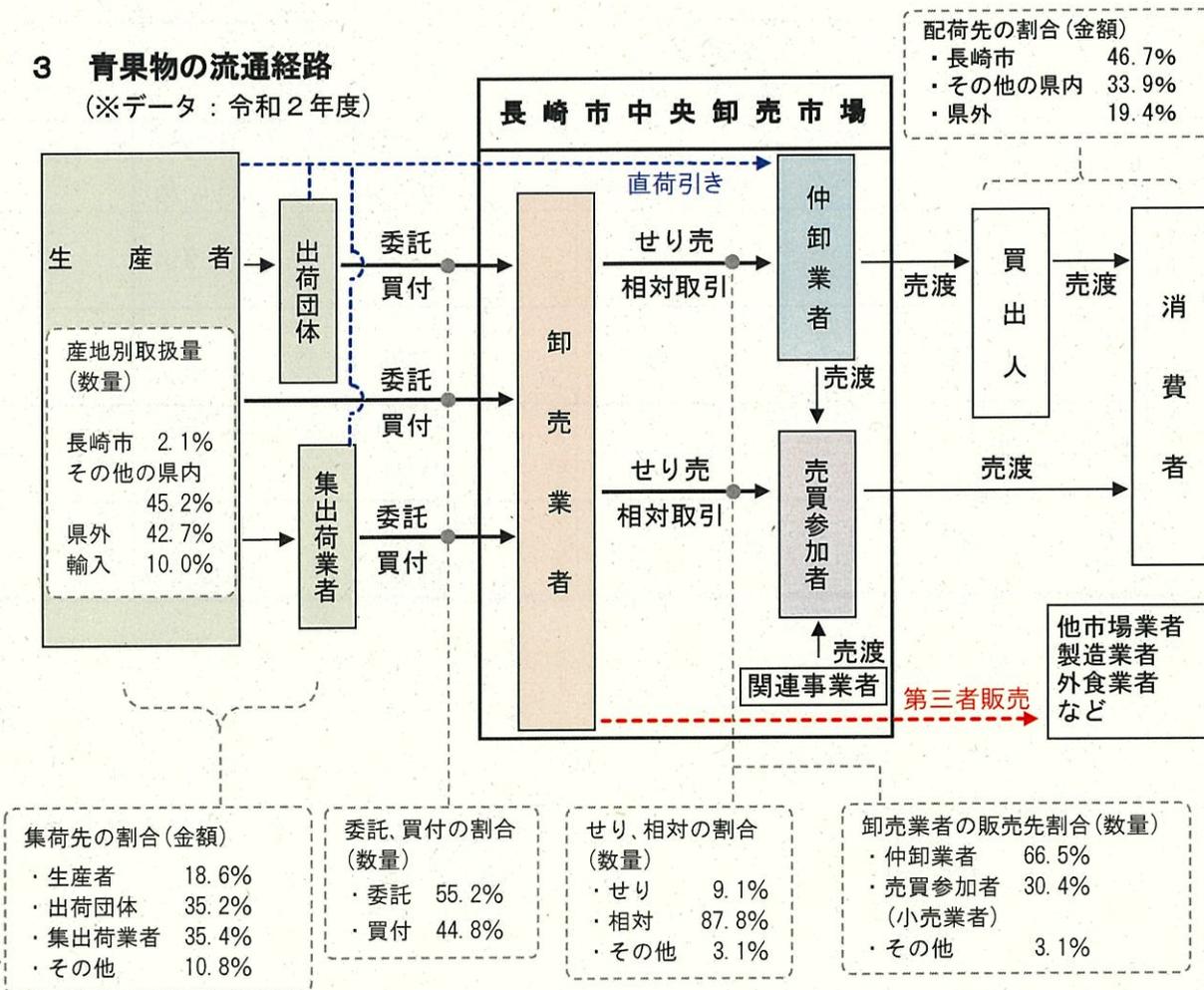
## 2 市場関係者

(令和4年2月1日現在)

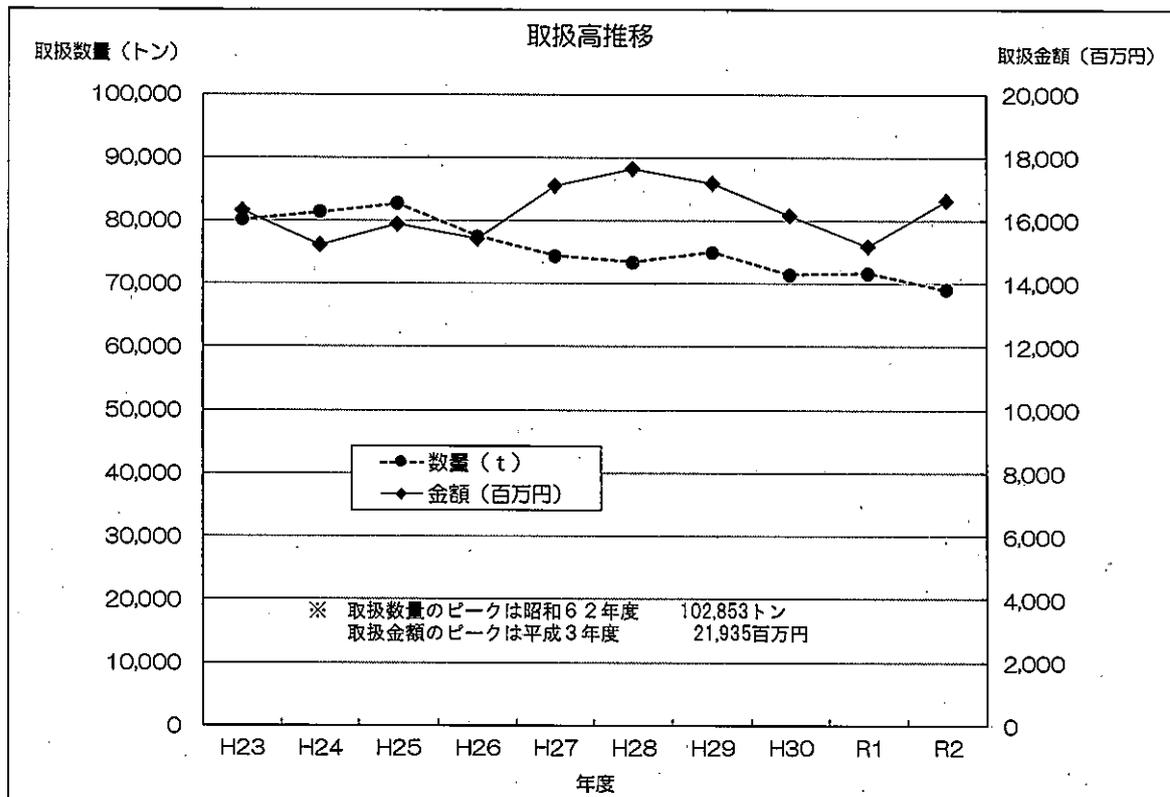
・ 卸売業者	2社	・ 長崎大同青果株式会社 ・ 株式会社 長 果
・ 仲卸業者	18社	・ 長崎市青果卸業協同組合 ・ 大長崎青果組合
・ 売買参加者	134業者	・ 長崎市青果物商業協同組合 (89 業者) ・ 長崎市浦上青果食品小売商組合 (17 業者) ・ 長崎青果丸和組合 (9 業者) ・ 大長崎青果組合 (10 業者) ・ 長崎協和青果組合 (6 業者) ・ 長崎新青果組合 (3 業者)
・ 関連事業者	10業者	・ 関連事業者棟ほか

## 3 青果物の流通経路

(※データ：令和2年度)



#### 4 年度別取扱高



	野 菜		果 実		総取扱高		前年度比 (%) (総取扱高)	
	数量(トン)	金額(千円)	数量(トン)	金額(千円)	数量(トン)	金額(千円)	数量	金額
平成23年度	59,222	10,629,529	20,960	5,677,972	80,182	16,307,501	99.2	96.4
平成24年度	59,898	9,766,108	21,463	5,463,571	81,361	15,229,679	101.5	93.4
平成25年度	61,394	10,376,368	21,297	5,522,665	82,691	15,899,033	101.6	104.4
平成26年度	57,211	9,915,796	20,316	5,512,431	77,527	15,428,227	93.8	97.0
平成27年度	56,061	11,303,726	18,336	5,792,628	74,397	17,096,354	96.0	110.8
平成28年度	55,427	11,857,490	17,958	5,764,608	73,385	17,622,098	98.6	103.1
平成29年度	56,133	11,436,868	18,809	5,744,431	74,942	17,181,299	102.1	97.5
平成30年度	53,308	10,406,766	18,126	5,760,246	71,434	16,167,012	95.3	94.1
令和元年度	53,768	9,564,985	17,883	5,605,693	71,651	15,170,678	100.3	93.8
令和2年度	51,333	10,490,522	17,679	6,153,501	69,012	16,644,023	96.3	109.7

※改正卸売市場法施行 (R2. 6. 21) による新たな集計方法により取扱高を記載。

※取扱高減少の要因

- ・人口減少による需要減
- ・高齢者施設や単身世帯、共働き世帯の増加による家庭需要の減 (業務用需要の増) など

※令和2年度は前述の要因に加え、天候不順やコロナ禍の影響もあり、総取扱数量が減少したが、巣ごもり消費や夏場品薄による相場高により、取扱金額は増となった。

# 中央卸売市場事業経営戦略（概要）

## 1 策定の目的

長崎市中央卸売市場においては、施設等の老朽化に伴う更新投資の増大、人口減少による取扱高の減少に伴う料金収入の減少等により、経営環境は厳しさを増しつつあることから、経営等についての確な現状把握を行った上で、中長期的な視野に基づく計画的な経営に取り組み、徹底した効率化、経営の健全化を図るため、令和3年3月に経営戦略を策定した。

「経営戦略」とは、公営企業の経営にあたり、総務省が示したひな形や記載例に基づき作成したもので、一般的にいう戦略に盛り込むべき、経営の健全化に向けた方策や将来市場のビジョンなどの記載項目は設けていない。

## 2 計画期間 令和3年度から令和12年度までの10年間

## 3 経営戦略の内容（全10ページの抜粋）

### （1）将来の事業環境

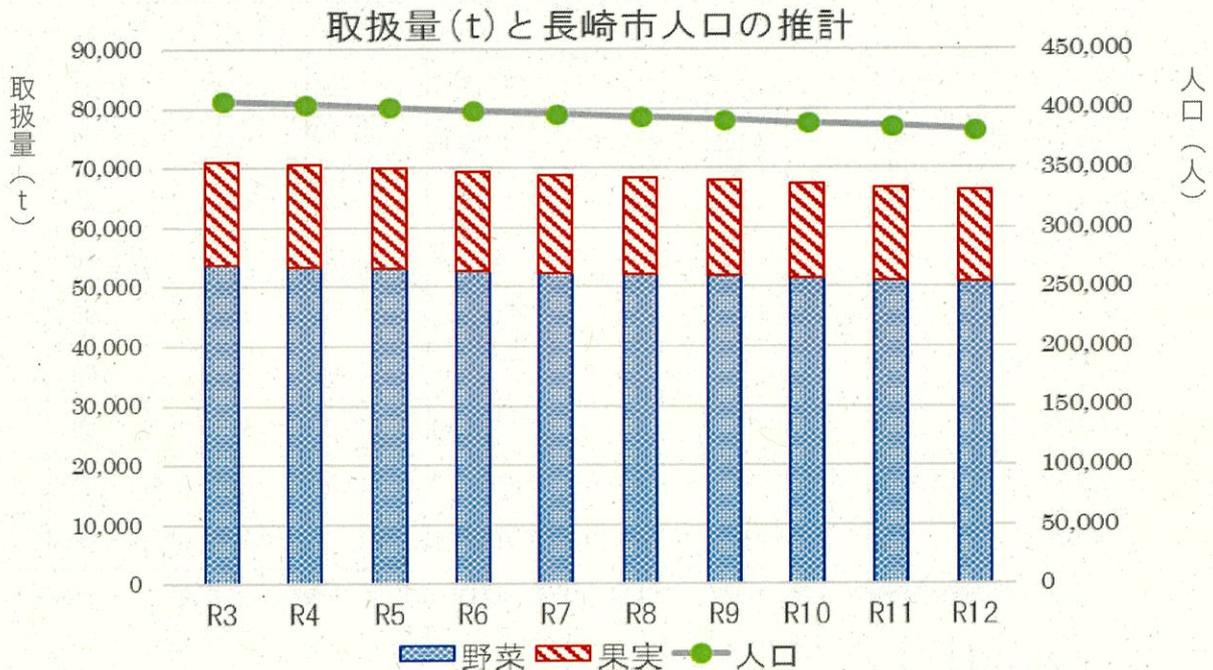
#### ア 取扱高の見通し

卸売業者及び仲卸業者の計画（目標）、過去の実績及び人口減少率等により推計。

◎人口減少の影響が大きく、10年間で約7%減少（見込み）

- ・減の要因：人口減少、流通多様化及び中食\*利用など
- ・増の要因：卸売市場法の改正による取引の自由化

\*中食とは、市販の弁当や惣菜、調理品を食べる食行動をいい、主に市場外流通の青果物を使用。



	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
野菜	53,704	53,448	53,094	52,753	52,442	52,145	51,878	51,512	51,173	50,912
果実	17,339	17,098	16,865	16,641	16,425	16,218	16,017	15,822	15,634	15,453
計	71,043	70,546	69,959	69,394	68,868	68,363	67,896	67,334	66,807	66,365
人口	406,675	403,903	401,131	398,359	395,586	392,970	390,371	387,789	385,224	382,504

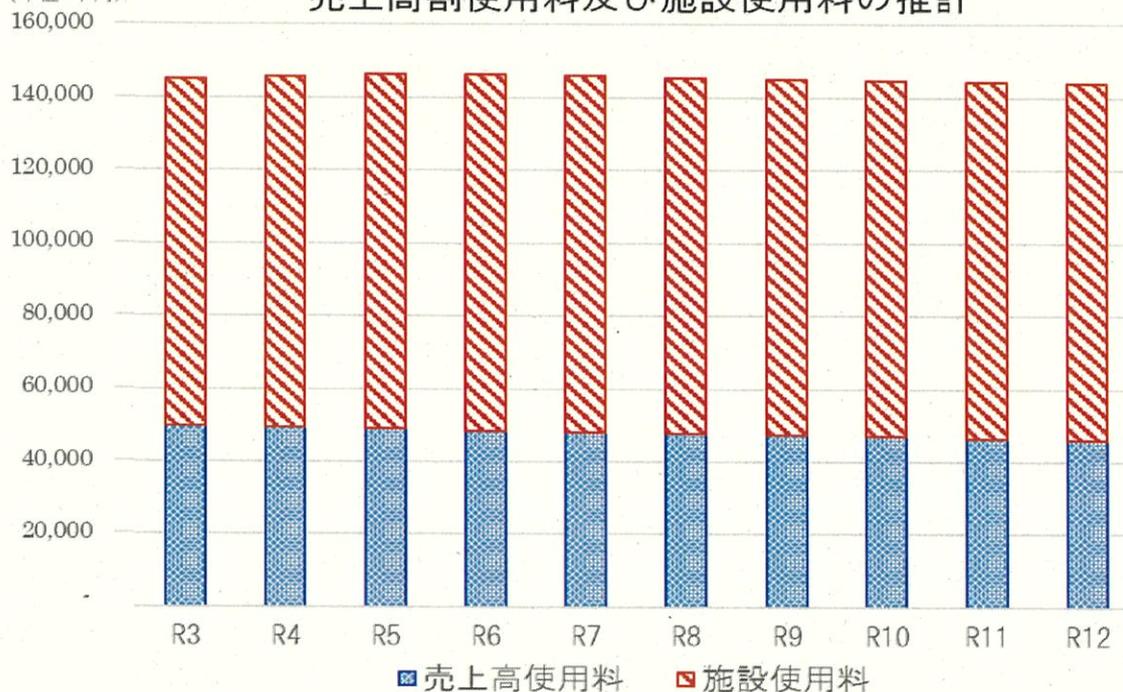
イ 使用料収入の見通し

◎10年間で約1%減（見込み）

- ・売上高割使用料：約7%減
- ・施設使用料：約3%増

（単位：千円）

売上高割使用料及び施設使用料の推計



（単位：千円）

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
売上高割使用料	49,763	49,452	48,990	48,549	48,130	47,735	47,358	46,939	46,537	46,183
施設使用料	95,199	96,230	97,353	97,634	97,634	97,634	97,634	97,634	97,634	97,634
計	144,962	145,682	146,343	146,183	145,764	145,369	144,992	144,573	144,171	143,817

ウ 施設の見通し

本市公共施設マネジメント計画や公共施設保全計画に基づき、令和22（2040）年度までの使用を目標に計画的な維持補修を行い、市場機能を維持する。

（2）投資・財政計画（収支計画）

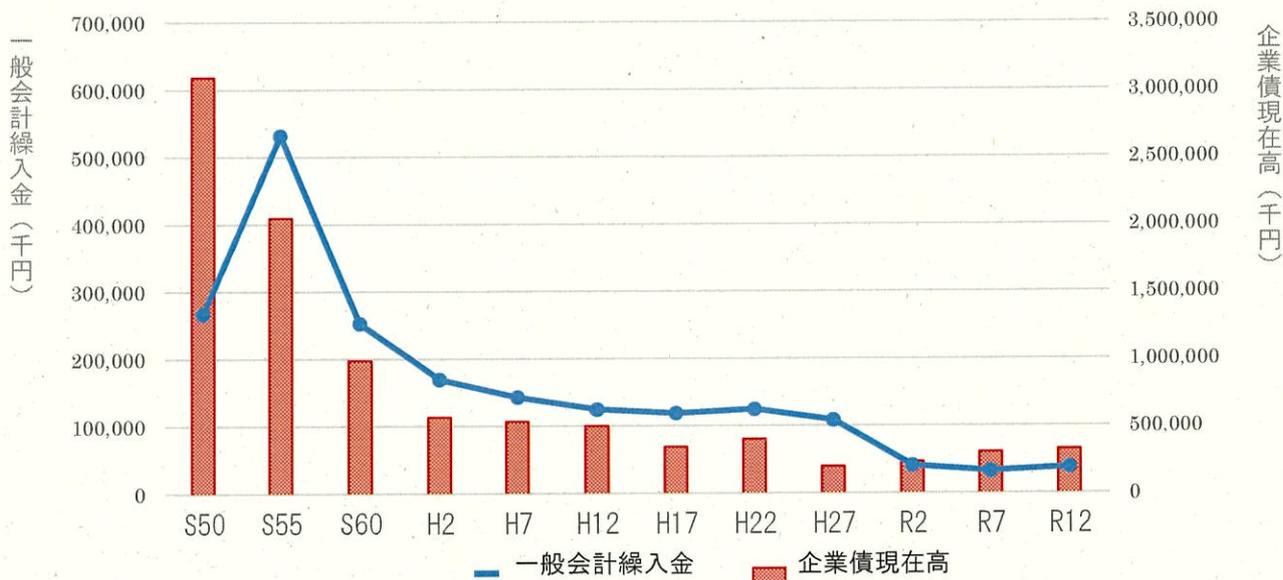
ア 投資

（単位：千円）

		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
卸売棟	鉄骨(柱・梁)塗装改修工事				42,100	50,600					
関連事業者棟	空調設備工事					13,700					
冷蔵庫棟	高圧受変電設備更新工事	39,100									
管理棟	外壁改修工事			20,900							
	空調設備更新工事				11,900						
その他	自動火災報知設備更新工事					5,800					
事業費		39,100	0	20,900	54,000	70,100	23,000	43,400	88,300	44,600	30,000
財源(公営企業債)		39,100	0	20,900	54,000	70,100	23,000	43,400	88,300	44,600	30,000

## イ 財源

### 一般会計繰入金と企業債現在高



(単位:千円)

	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2	R7	R12
一般会計繰入金	268,365	533,050	253,988	170,771	144,064	126,131	119,881	126,058	109,523	42,023	33,965	39,588
企業債現在高	3,094,000	2,052,289	993,158	570,692	538,814	504,804	349,034	404,401	203,525	240,560	308,946	410,092

## 4 進捗管理等

### (1) 施設管理

維持管理コストの抑制を図るため、計画的な維持補修を行う。

### (2) 事後検証、改定等

卸売市場を取り巻く環境の変化に対応するため、毎年度、進捗管理を行うとともに、見直しが必要と判断した場合は更新する。(PDCA)

### (3) 改定が生じた場合は、直近の議会への説明を行い、ホームページを更新する。

# 中央卸売市場施設概要

施設の種類		規模 (㎡)	適 要 (構造等)
敷地面積		73,417㎡	
建物延面積		36,251㎡	
卸売棟		31,026㎡	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造2階建
内訳	卸売場	14,145㎡	低温卸売施設100㎡×2基
	仲卸売場	7,863㎡	
	買荷保管積込所	5,165㎡	
	関係業者事務所	2,118㎡	
	その他	1,735㎡	庇・便所・階段・塔屋・プロパン庫等
冷蔵庫棟		1,412㎡	鉄筋コンクリート造2階建
管理棟		855㎡	鉄筋コンクリート造3階建
関連事業者棟		1,640㎡	鉄筋コンクリート造2階建
倉庫棟		1,045㎡	鉄骨造平屋建
その他		273㎡	守衛棟・屋外便所等
駐車場	屋上	3,714㎡	122台
	平面	17,834㎡	636台(アスファルト舗装)
緑地		2,346㎡	
公園		1,617㎡	2ヶ所

建設費 (昭和50年)	
用地費	856,630千円
建設工事費	3,209,700千円
その他	94,044千円
合計	4,160,374千円

